

ジュニア委員会より

ジュニア委員長 加藤 正

日頃より、ジュニア基金への支援を始めとする、ジュニア強化活動にご支援ご協力いただきましてありがとうございます。ジュニア委員会では、ジュニア大会の開催、ジュニアテニスの普及・育成・指導、そして県内トップ選手の強化という3大事業を基幹として、様々な事業に取り組んでいます。特に、ジュニアテニスの底辺を支える普及指導事業では、県内5ブロックの活動の他、TENNIS P&Sを活用した学校との連携事業などにも取り組んでいます。また本年度も、14歳以下の国別対抗戦であるワールドジュニア世界大会(各国代表3名)に男女とも千葉県の手が入って(男子中村健太、女子古賀彩花)、国を代表して世界のトップ選手と戦うなど、千葉県のトップ選手は世界的に活躍しています。国内の大会では8月の全国高校総体で、秀明八千代高校の白石光選手が団体、個人単・複と見事3冠を達成したのは大きなニュースとなりました。この他、5月の全国選抜で12歳以下男子：前田選手が準優勝し、8月の全日本ジュニアでは、14歳以下男子複で山内・橋本組が優勝、16歳以下及び14歳以下女子で石橋選手、麻坂選手が準優勝、11月の中牟田杯全国選抜ジュニアで女子：早重選手が準優勝するなど、多くの選手が上位に入り優秀な成績を収めています。

ドイツ・デュッセルドルフ派遣事業報告

ジュニア委員長 加藤 正

テニス協会では、千葉県教育庁の依頼を受け平成22年(2010年)からドイツ遠征を実施しています。これは千葉県とドイツ・デュッセルドルフ市との交流事業の一環で、当初、テニスと卓球、サッカーの3種目での交流として始まり、その後各競技団体事業(県は共催)として継続しているものです。派遣選手は14歳以下の中学生男女2名ずつで、選手の選考は、関東ランキングを基に名簿を作成し、参加希望を確認した上でランキング上位者から



決定しました。男子は金田晴輝選手(鎌ヶ谷第四中2年)と多田歩純選手(臼井中1年)、女子は森口結衣選手(千葉明德中2年)と藤田真衣選手(西高津中1年)が選考され、出発日当日成田空港に集合し、結団式後ドイツに向かいました。今年は、8月11日(土)から19日(日)までのスケジュールで開催されました。12日は会場での練習とプロの試合観戦で、13日からは早速大会が始まりました。今年の参加チームは、地元デュッセルドルフ A チーム、同 B チーム、ロシアモスクワチーム、そして我がチームの4チームで、各選手はシングルス、ダブルス、ミックスダブルスの3種目計12試合を戦いました。各選手熱戦を展開した中で、全員の勝敗を合計した団体戦では、我が千葉チームが見事優勝を飾りました。また、個

人では男子金田選手が12戦全勝を果たし、最優秀選手賞を獲得しました。さらに、大会役員と各チームの監督で選ぶフェアプレー賞は男子の多田歩純選手が獲得しました。各選手は、毎日の朝練、試合、夕方のトレーニングとチームでの団体生活をきちんとこなすと共に、試合期間中は、他国の選手との国際交流を果たすなど様々な貴重な経験をし、今後の活躍が期待されます。



デュッセルドルフ B vs 千葉



デュッセルドルフ A vs 千葉



加藤委員長 多田選手 森口選手 藤田選手 金田選手



表彰式